

小論文の基本的な書き方

2011. 07. 31

大阪教育大学

野浪正隆

(のなみまさたか)

小論文Q&A

Q1: それなりの主題で、ウダ
ウダ書いたら、それなりの点数を
くれるんとちゃうん？

小論文Q&A

A1: 間違いです。

しっかりはっきり書いていない小論文は「ウダウダ書いてあるだけ」と評価されて、低い点しか取れません。

小論文Q&A

Q2: 素晴らしいことを書かなあ
かんのやるか？

小論文Q&A

A2: そんなことは期待していません。1～2時間程度で、素晴らしいことを発見して書けるわけがありません。

調べようとしているのは、大学の勉学で必要な言語情報処理能力がきちんと身に付いているかということです。

国語は言語情報処理能力をつける教科

- 自分が体験・見聞した現象（自分の心理内容を含む）を言語情報として記録したり、他人が記録した言語情報を集めたりして、



体験して・見て・聞いて・読んで

国語は言語情報処理能力をつける教科

- 情報を加減乗除したり、連想で結びつけたりと、情報をいろいろと加工し、



考えて

加 = 書き加える 減 = 削る
乗 = 要約された内容を詳しく書きなおす
除 = 詳しく書かれた内容を要約する

国語は言語情報処理能力をつける教科

- 自分が処理した情報を、相手が分かりやすい形に整えて、発信する。



書く・話す

国語は言語情報処理能力をつける教科

- 現象を
体験して・見て・聞いて・読んで
- 考えて 加工し
- 相手が分かりやすい形に整えて
書く・話す

言語情報処理とすることから言えば

- 複雑な現象
- 複雑な尺度
- 複雑な評価

を複雑なまま小論文に書くと、

言語情報処理と言うことから言えば

伝わらないので

「書いた人は言語情報処理能力
がない」

と判断される。

小論文Q&A

Q3: 「確かに～しかし」パターン
を使うと効果的？

小論文Q&A

A3: 「確かに」で述べられた現象に対する評価が論証されているならば、「しかし」で提出した自説が以降で論証されるならば、相手に分かりやすく伝えるための方法だけれど……

小論文Q&A

A3： 大部分は、多様である現象
に対する評価を無理矢理に**二元化**
していて、
「確かに～しかし」を使いたかった
だけかいな という小論文である。

使うならちゃんと使え！

小論文Q&A

Q4: 小論文に必要なことは何？

小論文Q&A

A4:

- 課題で示された現象に関する詳細な知識
- 課題で示された現象に対する妥当な評価
- 文章構成

小論文の構成

構成が**単純**であるほど
分かりやすい。

読み手が
「今どんな部分を読んでいる」
と分かるように構成する。

小論文の構成

● 頭括型

文章の冒頭に主題を書く。

その後、論拠（＝主題を支える
具体的事実や尺度）を書く。

小論文の構成

● 尾括型

文章の末尾に主題を書く。その前に、論拠を書く。

小論文の構成

● 両括型 (双括型)

文章の冒頭と末尾とに主題を書く。
その間に論拠を書く。

頭括・尾括・両括型の中では、

両括型 (双括型) がおすすめ。

両括型(双括型)がおすすめ

○ 書き手にとって

主題を決定してから書くので、
構想メモ無しでも(いきなり解答
用紙に書いても

主張がぶれない

両括型(双括型)がおすすめ

○ 読み手にとって

主張が早く分かり、読み易い

両括型(双括型)がおすすめ

末尾の主題再提示部分は、
駄目押しとして働く。

800字の小論文であれば

- 主題提示部分 100字
- 論拠1 200字
- 論拠2 200字
- 論拠3 200字
- 主題提示部分 100字

で、書く。分量のバランスが大事。

800字以上の小論文であれば
各部分の分量を増やしたり、
論拠の数を増やしたりする。

1200字の場合

- | | | | |
|----------|------|----------|------|
| • 主題提示部分 | 150字 | • 主題提示部分 | 100字 |
| • 論拠1 | 300字 | • 論拠1 | 250字 |
| • 論拠2 | 300字 | • 論拠2 | 250字 |
| • 論拠3 | 300字 | • 論拠3 | 250字 |
| • 主題提示部分 | 150字 | • 論拠4 | 250字 |
| | | • 主題提示部分 | 100字 |

三つの論拠を探すために、いくつかの観点を使えるようにしておく。

自分と自分を取りまく世界（人間を含む）

- 自分・相手・みんな
- 個人・地域社会・国家
- 個人・国民・人間
- 個人・国家・世界

三つの論拠を探すために、いくつかの観点を使えるようにしておく。

人間の属性

- 人柄・性格・能力
- 知性・感情・意志（真・善・美）

三つの論拠を探すために、いくつかの観点を使えるようにしておく。

時間

- 家庭・職場・余暇
- 幼年期・成人期・老年期
- 過去・現在・未来

三つの論拠を探すために、いくつかの観点を使えるようにしておく。

人間の活動

- 政治的・経済的・社会的
- 経済的・道德的・芸術的

三つの論拠を探すために、いくつかの観点を使えるようにしておく。

商品・サービス

- 価格・性能・デザイン
- 費用・期間・サービス
- 合格可能性・ステータス・勉強内容
(取得資格)

小論文の出題

1. 課題が与えられそれについて書く
2. 課題文を読みそれについて書く
3. グラフや表などの資料をもとに論述する
4. 上記のパターンを複数組み合わせる

大阪教育大学の学校教員養成課程国語専攻は

1と2で2問。それぞれ800字程度。

小論文の出題

どれが書き易いか？

1. 高齢化社会について
2. 高齢化社会に対する考え
3. 高齢化社会に向けてすべきことは
4. 地域社会における高齢者への対応
5. 高齢消費社会における看護の役割
6. 高齢化社会の中で私ができること
7. 高齢化社会における問題とこれからの若者のあり方

小論文の出題 書きやすい課題

- 自分がよく知っている現象で、自分なりの尺度を持っていて、評価できる 課題

出たらラッキー。

- どんな現象か細かい指定があり、評価の方向性が示してある課題

漠然とした課題は自分でそれを推測しなければならないので、書くのが難しい

比較で観点と具体的事実をリストアップする ふとんとベッドのどちらが優れているか？

観点	ふとん	ベッド
安全性	落ちることはない	落ちることがある
収納力	なし	下に大きな収納スペースが生まれる
空間占有	寝ている時だけ	一日中嵩張る
労力	朝片づけ晩に敷く	不要
老人介護	不適	最適

比較で観点と具体的事実をリストアップする 中学生の学校で着るのは制服私服どちらがいいか

観点	制服	私服
衛生面	洗わないので不衛生	洗うので衛生的
体温調節		
統一感		
不良行為		
個性の表現		

比較で観点と具体的事実をリストアップする 自宅通学・下宿通学どちらがいいか

観点	自宅	下宿
衛生面		
経済面		
自由な時間		
不良行為		
自立		